

KanjiAtl Version 1.0

リファレンスマニュアル

はじめに	3
KanjiAtl コンポーネントとは	3
KanjiAtl コンポーネントご使用上の注意	3
改定履歴	4
簡単な使い方	5
使用例	5
プロパティ一覧	6
bit7mode プロパティ	6
Columns プロパティ	6
ESC プロパティ	6
Version プロパティ	7
Copyright プロパティ	7
ProductName プロパティ	7
メソッド一覧	7
toEuc メソッド	7
fromEuc メソッド	7
toJis メソッド	7
fromJis メソッド	8
toBase64 メソッド	8
fromBase64 メソッド	8

はじめに

KanjiAtl コンポーネントとは

KanjiAtl.dll は、ASP の VBScript や Visual Basic、EXCEL VBA WSH(Windows Scripting Host) などから使える汎用のコンポーネントです。Uni code ⇄ Jis 変換, Uni code ⇄ Euc 変換, Base64 エンコード／デコードが行えます。

KanjiAtl コンポーネントご使用上の注意

1. このソフトの著作権は作者 FukuRi ko が所有します。
2. 転載および再配布等はその旨を作者宛にメールで連絡し許可を得てから行ってください。
3. このコンポーネントの利用により引き起こされるいかなる損害に対しても作者は責任を持ちません。利用者ご自身の責任でご使用ください。

改定履歴

2004年01月 Version 1.0 公開

簡単な使い方

使用例

CreateObject メソッドで "KANJIATL.CodeConvert" という名前で作成します。

```
Set obj = Server.CreateObject("KANJIATL.CodeConvert")    'ASP  
Set obj = CreateObject("KANJIATL.CodeConvert")          'VBA や VB  
Set obj = WScript.CreateObject("KANJIATL.CodeConvert")  ' WSH
```

作成したオブジェクトでメソッドの呼び出し・プロパティの取得／設定を行いません。

変数 = obj.メソッド名(パラメータ)

obj.プロパティ = 設定値

変数 = obj.プロパティ

プロパティ一覧

bit7mode プロパティ

[戻り値] **Boolean**

[機能]

JIS コードへのエンコード／デコード時のビットモードの設定をします。

True : **JIS** コードで **SO, SI** コードを使用します。(デフォルト)

False : **JIS** コードで **SO, SI** コードを使用しません。

Columns プロパティ

[戻り値] **Long**

[機能]

Base64 エンコード時の折り返す文字数を設定します。0以下の値を設定した場合は折り返しをしません。(デフォルト値は0になっています。)

ESC プロパティ

[戻り値] **Long**

[機能]

JIS コード出力時のエスケープシーケンスの組み合わせを設定します。設定値とエスケープシーケンスの組み合わせは以下のようになります。

※デフォルト値は0になっています。

値	漢字コードの開始	ASCII コードの開始
0	ESC \$ B	ESC (J
1	ESC \$ B	ESC (B
2	ESC \$ @	ESC (J
3	ESC K	ESC H

Version プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントのプロダクトバージョンを返します。(読み取り専用)

Copyright プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントの **Copyright** (著作権) 情報を返します。(読み取り専用)

ProductName プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントの **ProductName** (製品名)を返します。(読み取り専用)

メソッド一覧

toEuc メソッド

[戻り値] **VARIANT** **EUC** 文字列 (バイナリ配列)

[引数]

VARIANT 変換元文字列 (**Unicode**)

fromEuc メソッド

[戻り値] **VARIANT** 変換結果文字列 (**Unicode** 文字列)

[引数]

VARIANT **EUC** 文字列 (バイナリ配列)

toJis メソッド

[戻り値] **VARIANT** **JIS** 文字列 (バイナリ配列)

[引数]

VARIANT 変換元文字列 (**Unicode** 文字列)

fromJis メソッド

[戻り値] **VARIANT** 変換結果文字列 (**Unicode** 文字列)

[引数]

VARIANT **JIS** 文字列 (バイナリ配列)

JIS コードには、エスケープシーケンスの組み合わせがいくつかあります。**KanjiATL** コンポーネントでは以下のエスケープシーケンスに対応しています。

- ・ 漢字コードの開始
 - ① **ESC \$ B**
 - ② **ESC \$ @**
 - ③ **ESC K** のいずれか

- ・ **ASCII** コードの開始
 - ① **ESC (J**
 - ② **ESC (B**
 - ③ **ESC (H**
 - ④ **ESC H** のいずれか

toBase64 メソッド

[戻り値] **VARIANT** 変換結果文字列 (**Unicode** 文字列)

[引数]

VARIANT 変換元データ (バイナリ配列)

fromBase64 メソッド

[戻り値] **VARIANT** 変換結果データ (バイナリ配列)

[引数]

VARIANT 変換元データ (**Unicode** 文字列)